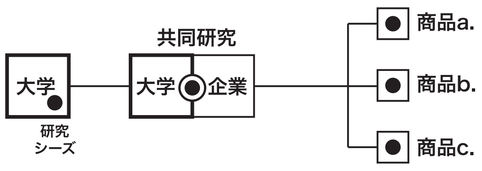
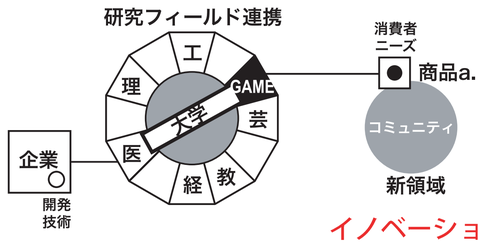
①

産学官連携？

【研究シーズ育成型】



【研究フィールド育成型】

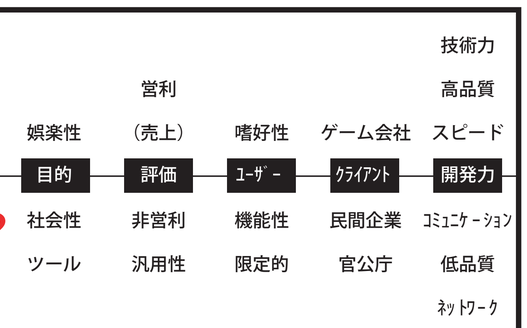


イノベーション

エンタメゲーム

シリアスゲーム？

＋大学

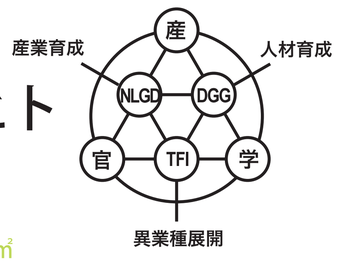


②

オランダ？ユトレヒト

オランダ：約660万人／41,526ｋ㎡
ユトレヒト県 36万人

ユトレヒト連携モデル
『自立展開型』
機能＝中間組織化



ゲーム関連組織の機能
『ニーズ対応柔軟型』

産：
中小企業、ベンチャー（シリアスゲーム他多分野）
グローバル（ローカライズ他）
中間）ビジネスマッチング組織
　　NLGDオランダゲームフェスティバル

学：
ユトレヒト芸術大学
ユトレヒト大学
中間）インキュベート財団：
　　ダッチゲームガーデン（DGG）

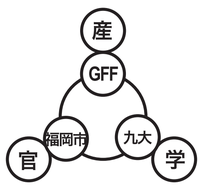
官：
ユトレヒト県
ユトレヒト市
ユトレヒト市外郭組織：
中間）タスクフォースイノベーション（TFI）

九州・福岡

東シナ海
台湾

九州 :1320万人／39,809ｋ㎡
福岡市 :144万人

福岡連携モデル
『従属収束型』
機能＝イベント化



ゲーム関連組織の機能
『企業生産ライン固定型』

産：
大中小企業（エンタメゲーム）
GFF加盟各社

学：
九州大学
（専門学校）

官：
福岡市
福岡県
九州経済産業局

CEDEC 2010 －CESA ディベロッパーズカンファレンス2010 －
ポスターセッション　No.28

九州大学のオランダゲーム国際産学官連携の活動報告
～産学官連携を起点としたゲームイノベーションの可能性～

九州大学 知的財産本部 国際産学官連携センター
末次宏成

③

事例1:

SGP

ゲーム研究開発事例１：2009年～
【福岡市シリアスゲーム制作プロジェクト】

【大学の視点】

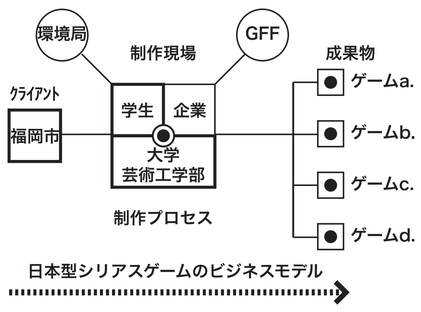
●大学でのゲーム制作（芸術工学研究院、他研究院）
●研究・教育分野としての「ゲーム」検証
●制作プロセスとしての産学官連携の検証
●「日本型シリアスゲーム」のビジネスモデルの模索

▼

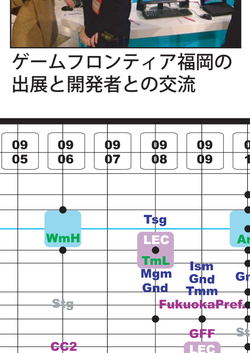
大学拠点のゲーム制作体制の検証

九州大学 芸術工学？

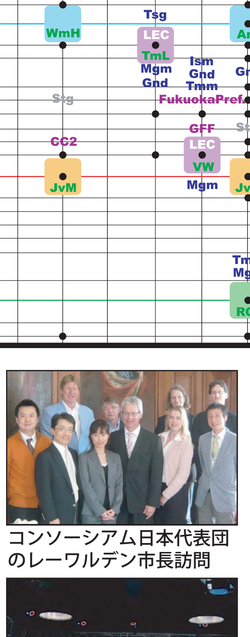
『環境』ゲーム



日本型シリアスゲームのビジネスモデル

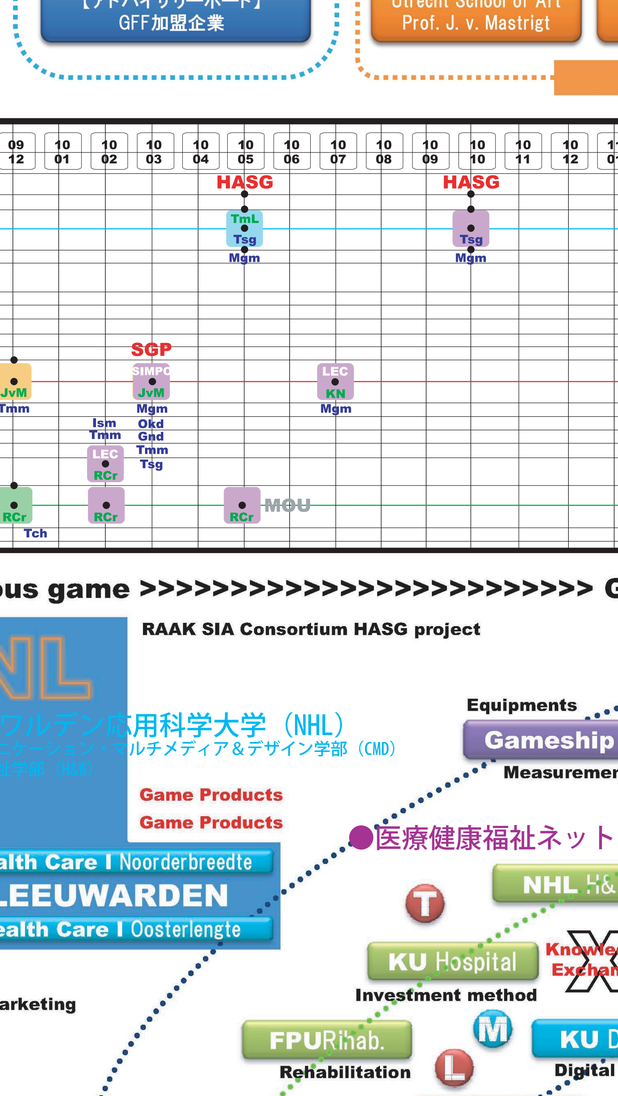


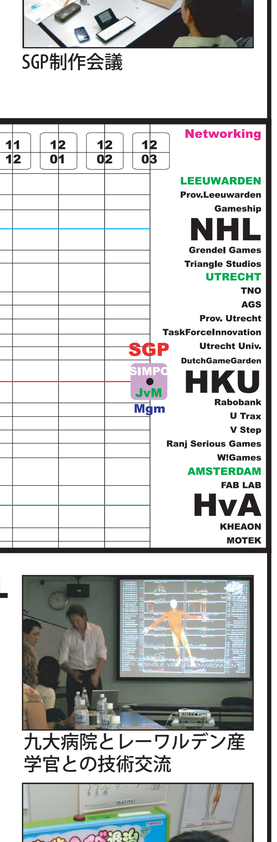
SGPシンポジウムでの成果報告



GFF開発者との試遊会

ゲームフロンティア福岡の出展と開発者との交流





福岡市環境局との会議

ユトレヒト芸大研究者の基調講演と制作技術交流

SGP制作会議

④

事例2:

HASG

ゲーム研究開発事例２：2010年～
【レーワルデンリハビリゲームコンソーシアム】

【大学の視点】

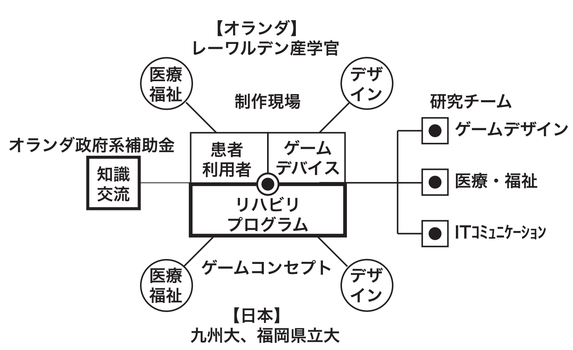
●ゲーム研究開発の国際連携（九大病院、芸術工学研究院）
●ゲームデザインとリハビリとの分野連携
●日本側は「楽しさ：動機づけのしくみ」を担当
●「ゲーム」のリハビリ現場への適用可能性

▼

ゲームの異分野への適用の検証

九州大学病院？

『リハビリ』ゲーム



コンソーシアム日本代表団のレーワルデン市長訪問

Gameship施設での技術開発交流

レーワルデンのヘルスケアセンターでの技術交流

Serious game >>>>